

厳選良問

～ 若年性認知症の特徴の理解を丁寧に確認した良問 ～

分野

医療・心理系分野

出典

介護福祉士試験(第29回-問題82)

問題

問題 若年性認知症に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 前期高齢者が発症する認知症である。
- 2 後期高齢者の認知症と比べて進行は緩やかである。
- 3 家族の心理的負担は少ない。
- 4 若年性認知症に特化した社会的支援が充実している。
- 5 若年性アルツハイマー型認知症では神経症状を認めることが多い。

ポイント&解答

資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★	★★	★★★	★★★	×

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

試験対策ポイント解説

若年性認知症は、ケアマネ試験などの他の試験でも、近年よく出題されています。若年性認知症については、「65歳未満で発症した認知症のこと」「実行機能障害が先行してみられることがある」「基礎疾患別にみると血管性認知症が最も多い」という3点は最低限覚えておきましょう。

今回の問題は、5肢択一式よりは一問一答式で、一問ずつ確認していきたいくらい、若年性認知症の特徴を丁寧に記述しています。ですから、過去問題集などで解説をしっかりと確認し、若年性認知症の特性を理解しましょう。

若年性認知症に関しては、「もしも、働き盛りの若者に認知症がみられたら」ということを想像して考えてみると、少なくとも選択肢3や選択肢4あたりは不適切であると判断できるかと思います。

解答

5

